

# 松林分館だより syourin

福生市武蔵野台 1-15-1 電話 552-3624

## たっけー☆☆ 松林分館に来る!

12月20日夕方、その日は、「仲よし将棋教室」のクリスマス会が予定されていました。参加者は幼稚園児1名、小学生6人です。前半は将棋の学習です。子どもたちは、先生から「今日はスペシャルゲストが見えます」との知らせで、AKB 48かな?などと噂し合っていて夢がふくらんだ様子です。

先生は少し心配なりましたが、タッケーが登場すると大歓声で、全員が握手したりサインをもらったりで大喜びのうちにクリスマス会の夜が更けていきました。

これは子どもたちのお母さんたちが計画しました。子どもたちは、ステキなサプライズのプレゼントで、楽しい思い出ができたことでしょう。



松林分館利用者インタビュー

本田 貢氏 (武蔵野台老人クラブ会長)



夏休みや、だれでもなんでも子どもたちに「もの作り」を教えていただいている本田さんからお話を伺いました。

本田さんは、「もの作り」が大好きで六小の「ふっさ子の広場」で大活躍しています。年中行事や季節に合わせて何を考えるか、材料の選定をします。なるべく自然のものを



本田 貢氏

子どもたちの遊びや民芸品などを参考にアレンジして作ります。くねくねハビヤブイメランなどさまざまなの作ります。子どもたちに触れたい気持ちです。子どもたちが元気になるそうです。子どもたちは中学生になっても本田さんに挨拶します。

今年の暮れには松林分館の利用者にたくさんの羽つぎの羽を作ってください。子どもから大人まで大喜びでした。羽玉に使われているムクロジは、市内の清岩院のムクロジの実を使いました。

お話を聞いているうちに記者は、今では見られなくなった羽つぎを復活させるべく、今年の「だれでもなんでも展」の体験学習に、この羽を作り、羽つきコーナーの遊び場を企画したいと思いました。本田さんは、すぐに賛成してくださり講師になることを約束してくださいました。(記 秋山喜久江)

## 松林分館コンサート 日本の楽器「篠笛と邦楽打楽器」を楽しもう!

2月17日(日)

午前10時〜正午



篠笛は、篠竹から作られたものです。日本の古来からあるお祭りのお囃子(はやし)などにはなくてはならない横笛の楽器です。

美しい篠笛の音色や小鼓、締太鼓のリズムなどを楽しみましょう。楽器の説明もさせていただきます。小学生も大歓迎です。

■日時 2月17日(日) 午前10時〜正午

■演奏 福原寛菜氏(横笛演奏家)

福原洋音氏(横笛演奏家)

梅屋貴音氏(邦楽囃子演奏家)

ほか

■場所 公民館松林分館大集会室

■曲目 三井の晩鐘、会津幻想曲、竹の踊り、童謡・叙情歌小品集

ほか

■対象 市内在住、在勤の方、(未就学児は保護者同伴)

■定員 先着60人

■申込み 公民館松林分館へ。

電話 552・3624

電話 552・3624



## サークル紹介 「みっちゃんの家」

会長 松島妙子

平成12年から活動している押絵制作サークルです。

押絵は、羽子板など、題材を立体的に正絹で作ったパズルを組み合わせで作る日本の伝統工芸です。私たちサークルの作品のテーマは、日本にこだわらず西洋的なものも作ります。古布を使って作るのも昔のきものをほこして使うこともあります。

1年前まで教えてくださる先生がいましたが、体調をくずされてお出でになることが



松林分館で春一番に花を付けるのがロウバイの木です。つぼみがこんなに大きくなりました。春はすぐ!



できなくなりませんでした。その時はサークルの存続がややぶまりましたが、みんなが続けていきたいとの気持ちがあったので、みんなで教え合おうということになり、サークル消滅の危機を乗り越ええました。今は会員数6人でそれぞれが好きな題材で制作し学びあっています。おしゃべりも楽しみの一つです。昨年はそのこともあって、だれでもなんでも展に出品できませんでしたが、今年はお品したいと今から作品のテーマをみんまで考えています。 ※松林分館のロビーに押絵の作品を展示しています。ぜひご覧下さい。



写真 福原寛菜氏

## 自主学習活動 「にっこにっこ育児サークルの」

「生まれてきてくれてありがとう」



にっこにっこ育児サークル 河野 咲季

私たちのサークルは小さい子どもとお母さんで活動しています。普段は保育室と和室を主にお借りしていますが、(一か月に一度大集会室で、童謡をつたう会の「ななつの子」のみなさんに親子一緒に童謡を聞かせていただいています)

1月10日、誕生学の青木千景先生をお呼びして大集会室にて講演会を行いました。

誕生学とは健全な自尊感情を育て、ライフスキル教育プログラムです。「生まれてきたことが嬉しくなる」

未来が楽しくなる」をコンセプトにしたもので今回、私たちに合わせて小々な子どもを持つ私たちが、子どもにできることは無理に成長させようとするのではなく、何も教えなくてもお腹にいたときから工夫しておっぱいを吸う練習や羊水をきれいに保つこと、うまく回転して生まれてきた力を信じて「生まれてきてくれただけで100点満点!」生まれてきてくれてありがとう!と子どもに伝え、たくさんスキップをする。そうすることで、自己肯定感のしっかりある子どもになる。小さいときにそういう根っこになることを教えていただきました。

また夫婦がバストパートナーであるためのヒントやこの先来る思春期の問題についても教えていただきました。日々の忙しさの中でつい見落としがちになってしまうけれど大切なことをサ



写真 おうたの様子